

授業科目 倫理学

【担当教員名】 渡辺信也	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

<概要>

今日、科学技術の高度化に伴い、「生命」や「環境」が倫理学の課題となる一方、グローバル化の進行が促進された結果、異なった価値観を持つ人間同士の「共生」が倫理学の主題としてクローズアップされるに至った。そのため旧来の倫理概念は全面的な再検討や拡張を迫られており、「自由」や「人権」等の意味が根本から問い直されている。本講義では、今日の倫理概念の基底を形成した西洋近代思想・近代科学の意義と限界を検証し、東洋思想の再評価をも試みつつ、現代の倫理的問題の諸相を、環境倫理を中軸に据えて概観・検討し、生命をも含む広義の環境を保全し、他者との共生を可能とする人間存在の配置に対する新たな理解を獲得し、21世紀の倫理を樹立しようとするものである。

<学習目標>

- ・現代の倫理的問題の諸相に関する知識を得る。
- ・従来の倫理概念の意義と限界を理解・評価できる。
- ・今世紀に求められる倫理的原則を理解し、この実践に主体的に取り組む姿勢を持つ。

回数	授業計画又は学習の主題		学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	現代倫理学入門	今「倫理学」とは何を謂うのか、環境倫理学や生命倫理学等、今日の倫理学の抱える問題を概観する。	講義
2	近代自由主義の問題	近代社会の基本理念であった自由主義思想の意義と限界を検証する。	同上
3	近代科学の問題	近代科学の哲学的基盤を反省し、今日の生命・環境・社会にとって持つ意味を再検討する。	同上
4	現代の倫理的問題① 配分問題	有限な資源・福祉サービスなどを公正に配分することは可能か、その倫理的原則を考える。	同上
5			同上
6	現代の倫理的問題② 企業倫理の問題	利潤の追求を目的とする企業活動に倫理的責任を問うことがいかにして可能となるかを考察する。	同上
7	現代の倫理的問題③ 生命倫理の問題	爆発的な勢いで発達しつつあるバイオテクノロジーにまつわる諸問題を検討しこれに対処するための倫理的原則を探究する。	同上
8	現代の倫理的問題④	政治経済体制・文化・価値観等の異なる諸民族がそれらの相違・対立を超えて	同上
9	多民族共生の問題	共存していくための倫理的原則を考察する。	同上
10	現代の倫理的問題⑤ 科学技術の問題	人間がテクノロジーを制御することは、いかなる倫理的原則に立てば可能になるのかを検討する。	同上
11	21世紀の倫理①	哲学・宗教的伝統の地下水脈として受け継がれてきたアニミズム・生気論的思想を、近代科学を補完する倫理的意義を持つものとして再評価し、生命・環境倫理におけるその可能性を探る。	同上
12	自然哲学の復権		同上（ビデオ視聴を含む）
13	21世紀の倫理②	人間存在の本質を、東洋思想・深層心理学などの知見をも援用しつつ再考し、	同上
14	人間存在の意味	「共生」という現代の倫理的課題を実現する人間の在り方を考察する。	同上

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書				
参考書	『共生のリテラシー ―環境の哲学と倫理―』 加藤尚武編 東北大学出版会 2001年 1500円 その他、講義中に適宜指示する。			
その他の資料	プリントを配布する。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
出席状況・各回提出のレポート・期末試験を総合して評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校で倫理を履修している必要はない。</li> <li>・授業態度を重視する。積極的に質問をするなど、主体的に取り組むことが望ましい。</li> <li>・講義の順番・内容は一部変更することがある。</li> </ul>